

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2022/01/06

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.20	-0.07
JPY/THB	0.2860	-0.0005
USD/JPY	116.11	-0.05
EUR/THB	37.57	0.03
EUR/USD	1.1314	0.0027
USD/CNH	6.376	0.000
SGD/THB	24.47	-0.07
AUD/THB	23.99	-0.11
USD/INR	74.36	-0.20
USD Index	96.17	-0.09

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,825.1	10.5
WTI (Oil)	77.85	0.86
Copper	9,698.0	-70.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,676.79	6.51
NIKKEI (JP)	29,332.16	30.37
DOW (US)	36,407.11	-392.54
S&P500 (US)	4,700.58	-92.96
SHCOMP (CN)	3,595.18	-37.15
DAX(GER)	16,271.75	119.14

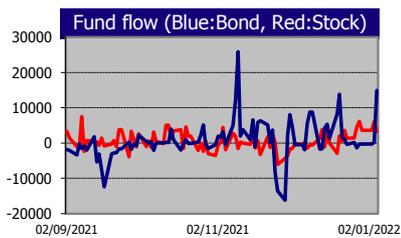
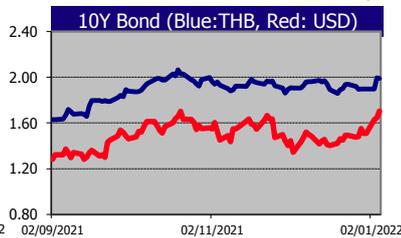
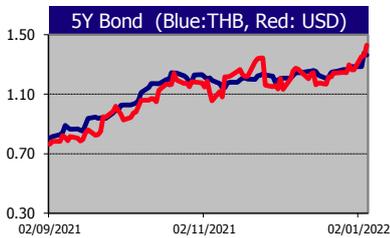
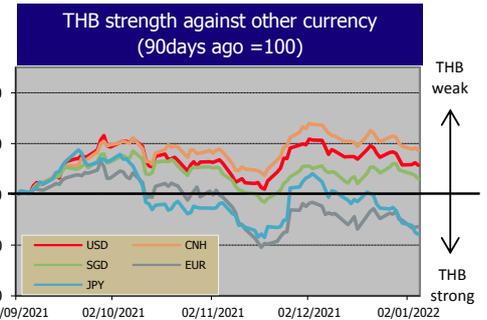
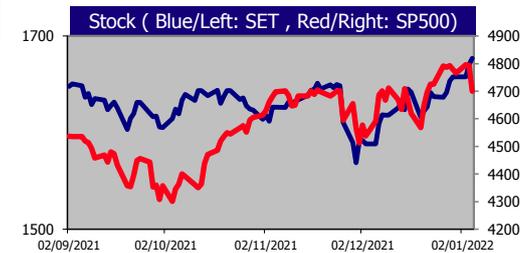
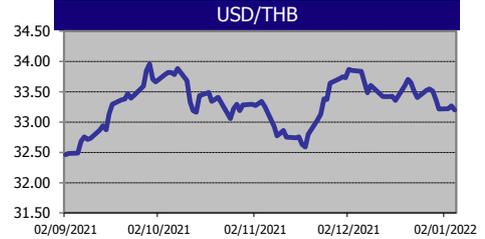
Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.362	-0.016
10Y (THB)	1.989	-0.005
5Y (USD)	1.429	0.072
10Y (USD)	1.705	0.058

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,261	-2886.9
Bond net flow	14,888	14729.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは33パーツ前半で取引開始。朝方は前日のオフショア市場の流れを継いでパーツ買いが入り下落するが、夜間にFOMC議事録の発表を控えて下げは限定的。海外時間、米12月ADP雇用統計が大きく予想を上回ったことが好感されてリスクオンで再びパーツ買いが強まったが、その後発表されたFOMC議事録にて早期の上上げに加えて保有資産の縮小も必要になる可能性が言及されていたことが判明すると、ドル高に転じて下げ幅を縮小した。

●ドル円その他

昨日のドル円は116円10台で取引開始。約5年ぶりの116円台ということもあり、ドル売りが入り易い地合いの中で公示後には116円近辺まで下落。その後再びアジア時間終盤にドル売りが入り115.70前後の水準へ。海外時間、FOMC議事録が公表され、予想よりもタカ派な内容に米金利が上昇。ドル円は再び116円台まで反発して引けた。

Bangkok Dealer's Eye

2022年は米金利中心に金利上昇で始まりました。米10年物国債金利は一時、昨年10月以来の水準である1.70%台まで上昇しています。一方、米インフレ連動債が織り込むインフレ期待値にそこまでの上昇は見られていないことから、債券から株式への資金移動などアセットアロケーションの一環で生じているものと考えます。結果として、債券の実質金利(名目金利 - インフレ期待値)も上昇しています。

為替は金利差拡大によりドル円は116円台まで上昇した一方、ドルタイパーツはタイパーツ金利も同時に上昇したこともあり、今のところ大きな値動きにはつながっていません。タイパーツについては、米インフレ期待値の上昇がFRBの更なるタカ派スタンスを引き出し、新興国通貨売りにつながるケースにおいて大きく売られるシナリオが想定されることから、引き続きインフレ動向に注意が必要と考えます。(池澤)